



【情報提供】 次のとおり、ヨコハマSDGsデザインセンターが記者発表を行いましたので情報提供します。
 内容に関するお問合せ：温暖化対策統括本部 SDGs 未来都市推進課
 担当課長 田邊 俊一 電話：671-2477

報道関係者各位

令和5年2月8日
 ヨコハマSDGsデザインセンター

第2弾～建設業界編～ 横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”認証取得事業者の「これだけは自慢させて！独自のSDGs取組」レポートを公開
－SDGsに取り組む上での課題は「マンパワー不足」が最多の結果に－

ヨコハマSDGsデザインセンターは、横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”（以下「Y-SDGs」という）認証取得事業者が誇る独自のSDGs実現に向けた取組に関して、業界・業種ごとに複数回に分けて情報を取りまとめ、発信しています。

前回に続き第2弾の特集として、Y-SDGsを認証取得した「建設」事業者の皆様にご協力をいただき、以下資料のとおり取りまとめましたのでお知らせします。本件は、期日までに回答があった建設業界32社について調査をいたしました。（調査期間2022（令和4）年12月6日-12月23日）

各事業者の「これだけは自慢させて！独自のSDGs取組」のほか、各事業者が取り組むSDGsがどのゴールに該当しているか、またSDGsに取り組む上での課題を調査したランキングや、Y-SDGs認証取得による満足度などを調査した結果についても掲載しています。

全編掲載 URL：<https://www.yokohama-sdgs.jp/topics/ysdgs202302/>

ヨコハマSDGsデザインセンターでは、横浜市と共同で実施する横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”において、取得事業者が誇る独自のSDGs実現に向けた取組に関して複数回に分け取りまとめました。第二回は建設業界にインタビュー調査を実施しました。

建設業界は、人々が安心して暮らせる住環境や働きやすい労働環境を整備するため、まちづくり、インフラの構築、環境負荷抑制などの観点で重要な役割を担っています。

特に、SDGs目標11「住み続けられる街づくり」目標12「つくる責任つかう責任」が建設業と密接に関わってくると言われていますが、Y-SDGs認証事業者が取り組む目標や課題など現状は一体どうなのでしょう…。

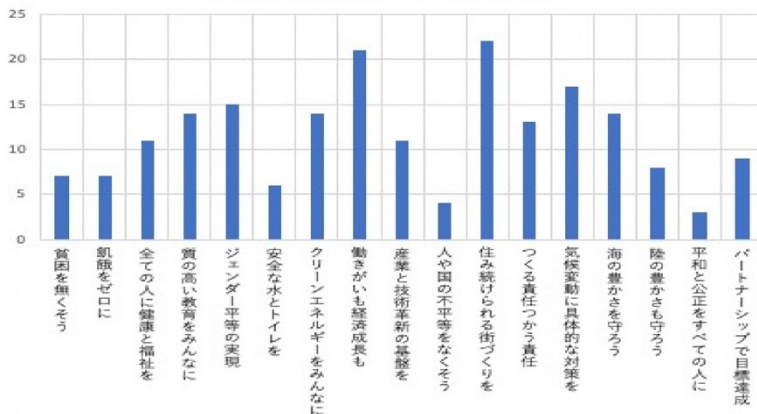
※調査結果をご紹介いただく際は「ヨコハマSDGsデザインセンター調べ」とご記載下さい。

自社が貢献（目指す）していると考えるSDGsの目標について、目標11「住み続けられる街づくりを」と目標8「働きがいも経済成長も」が2トップ！

■SDGsの目標11を意識した取組は全体の約7割！

建設業に密接に関わると言われている目標12「つくる責任つかう責任」よりも、目標8「働きがいも経済成長も」が2番目に多かった。男性社会が多数派である建設業でもジェンダー平等に重点を置く事業者が半数近くいることがわかる。（複数回答可）

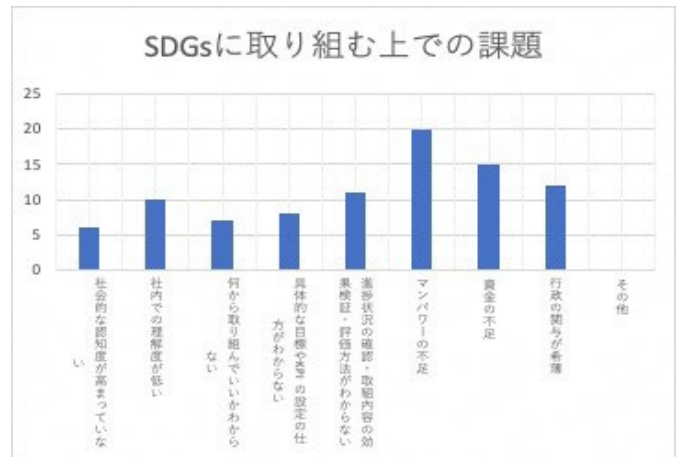
SDGs取り組み事例の数



SDGsに取り組む上での課題は「マンパワー不足」が圧倒的多数

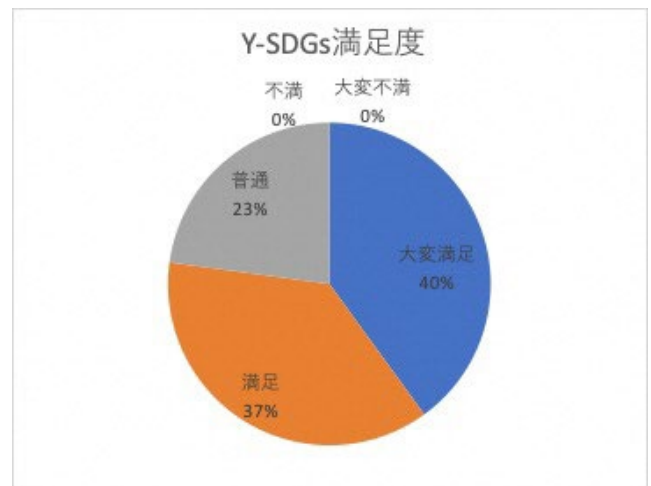
■「マンパワー不足」が「資金不足」よりも多かったことから、助成金や資金提供よりも、内部のSDGsに取り組む人材の育成や外部のSDGsのプロフェッショナルな人材投入等の方が、事業者が望む解決策であることも示唆される。

(複数回答可)



Y-SDGs 認証制度の満足度について 77%が満足以上！

■不満以下の回答者は皆無で 77%が「満足以上」と回答！一方で 23%が「普通」と回答し、認証制度の質の向上を目指したい。



今回調査協力をいただいた認証事業者のうち、Y-SDGs 認証最上位「Supreme」を取得した企業の自社独自のSDGsの取組について下記ご紹介いたします。

株式会社キクシマ (Supreme ☆☆☆)

「ゴール 17：パートナーシップで目標を達成しよう」総合建設業ならではの“協力業者様の多さ”という利点を活かして基金を立ち上げ、この拠出金をお渡しする先を決定するコンペティションを開催しました。

かがやき活動応援コンペティション

「かがやき活動応援コンペティション」とは、SDGsの目標達成のため、2021年1月より協力会社様を中心としたネットワークにて、地域・ご近所・市民と協働して活動のスタートを切りました。この取組を通じ、社会課題の解決や地域活性化に貢献する活動を応援し、寄付を呼び出したい企業を募集するため、当該コンペティションを開催します。

「かがやき活動応援コンペティション」の開催概要

- 第1部門** NPO・一般社団法人等(法人格のある団体)
- 第2部門** 市内会・自治会やせせ・ボランティア等(市民活動)及び学生による活動(法人格のない団体)

寄付の額 応募に際して何千何百の金額(上限500,000円)を定額

募集期間 2022年8月1日～9月30日

結果発表 2022年10月末予定

応募方法 キクシマの基金コンペティションページより、募集の(申込用紙)をダウンロードし、必要事項をご記入の上、電子メールにてご応募ください。

「かがやき活動応援コンペティション」の詳細は、WEBページよりご確認ください!

株式会社 キクシマ
〒224-0294 神奈川県横浜市磯子区 磯子3-18-7
TEL:045-833-3663

東亜建設工業株式会社横浜支店 (Supreme ☆☆☆)

「ゴール7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに」 当社の技術研究開発センターのⅡ期事業に着手し、外壁性能の向上、高効率空調、太陽光発電等の採用により実質エネルギー消費ゼロを目指します。(ZEB 評価を取得予定)



ヨコハマ SDGs デザインセンターホームページで、さらに多くの事業者の皆さまの取組をご紹介します。ぜひご覧ください！ <https://www.yokohama-sdgs.jp/topics/ysdgs202302/>

■アンケートにご協力いただいた事業者様 (32社 五十音順 敬称略)

旭建設株式会社 / ERB 株式会社 / エシカルビューティーラボ / 荏原実業株式会社 横浜営業所 / 大豊建設株式会社 / 株式会社大山組建材 / 株式会社カズキ / 株式会社ククシマ / 京浜電設株式会社 / 株式会社ケイ・ワイ / 株式会社コアベース / 株式会社櫻井 / 株式会社三我 / 三親住設株式会社 / 株式会社春峰園 / 株式会社ショウエイ / 株式会社センチュリー工業 / 東亜建設工業株式会社横浜支店 / 東京ガスエコモ株式会社 / 土志田建設株式会社 / Trim 株式会社 / 日本テクニカル・サービス株式会社 / 株式会社五六 (フノボリ) / マイ建設株式会社 / 有限会社峯岸工務店 / 目黒建設株式会社 / 柳井電機工業株式会社 / 株式会社ヤマヤ土建 / 横浜植木株式会社 / 株式会社ヨコハマシステムズ / 株式会社ライフ・コア横浜 / 菱建基礎株式会社

■ヨコハマ SDGs デザインセンターとは

横浜市と民間事業者が共同で設立・運営する組織で、SDGs の達成に向けて、市内外の多様な主体が持つニーズとシーズをつなぎ合わせ、横浜における環境・経済・社会的課題を解決するための中間支援組織です。官民連携で運営する強みを活かし、SDGs に関する相談受付・助言はもちろんのこと、ご要望に応じてハンズオン支援など、各種コンサルティング業務を行うほか、SDGs 達成に向けた多様な主体同士のマッチング、「横浜」というフィールドを活用した、多様な実証実験の協力・支援なども行っています。

■横浜市 SDGs 認証制度“Y-SDGs”とは

横浜市とヨコハマ SDGs デザインセンターが連携し、SDGs 達成に向けて取り組む企業・団体を「横浜市 SDGs 認証制度“Y-SDGs”」において認証し、応援しています。認証を取得した事業者は、マーク等を用いて SDGs の取組が認められたことを PR できるほか、認証制度を活用して SDGs に取り組むことにより、持続可能な経営・運営への転換、新たな顧客獲得、取引先の拡大や信頼度の向上につながる事が期待されます。横浜市とデザインセンターも、様々なメリットを随時ご提供します。皆様のご相談、ご申請をお待ちしています。認証区分 ;各評価項目における取組状況に応じて、3つの区分で認証します。詳細は、ヨコハマ SDGs デザインセンターの HP をご覧ください。

お問い合わせ先

ヨコハマ SDGs デザインセンター

竹田 mail: contact@yokohama-sdgs.jp 050-3749-7415